

神戸市シルバーカレッジ
同窓会会報

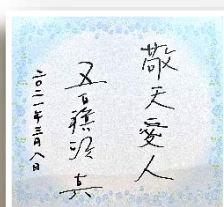


17号

2021年 3 月



五百旗頭 真 先生



後藤事務局長と同窓会役員

◇ KSC 同窓会「春の講演会」 <五百旗頭 先生講演会>

神戸市シルバーカレッジ
〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1-16
KSC : URL <http://kobe-sc.org>
KSC 同窓会 : URL <http://kscalumni.yokochou.com/>

編集・発行 KSC 同窓会編集委員
Tel.078-743-8100 Fax.078-743-8103
E-mail: scjyouhoushi@live.jp

同窓会「春の講演会」

(日 時)令和3年3月8日(月)14:00~16:30
(場 所)県民会館(9階)「けんみんホール」
(講 演 者)兵庫県立大学理事長
五百旗頭 真(いおきベ まこと) 先生
(講演内容)「コロナ禍の中の世界と日本」
(参加者数)123名

梅の花が満開を迎え、春の日差しを感じるころ、同窓会「春の講演会」が開催されました。木村俊子(国際24期)さんの司会進行で行われ、はじめに清水同窓会会長より「神戸市シルバーカレッジ同窓会



清水勇夫同窓会会長

会員数も650名程になり、ますます発展いたしております。母校の建学精神に則り、多方面で活躍されている各位に、今後とも強力なご支援をお願いいたします。」との挨拶

があり、続いてシルバーカレッジ事務局の後藤徹也様より挨拶がありました。

講演にあたって司会者より五百旗頭先生の紹介がありました。兵庫県西宮市出身、六甲学院高校、京都大学法学部卒業、神戸大学教授、防衛大学校長を経て、現在は兵庫県立大学、



後藤徹也事務局長

ひょうご震災記念21世紀研究機構の理事長を務められ、専門は政治外交史で文化功労者を受章されています。

先生の講演は、はじめに自己紹介をされ、震災復興の経緯や「支え合うボランティア精神」を述べられ感動を受けました。

広島で13年間の青春時代を過した後、神戸大学で25年間の教授を務められました。しかし、教え子が阪神淡路大震災で亡くなったのをきっかけに、日本が自然災害に脆いことを感じ、専門外だけど防災関係の仕事に就くことになられたとの事です。そして、元小泉首相から防衛大学校長を頼まれましたが、その後3.11(東日本大震災)が起こりました。福島第一原発の1号機、3号機が爆発、2号機も爆発していたら東京から北の日本は放射能で住めなくなっていたと思います、との事です。しかし、幸運の女神の救いで2号機の爆発は免れ、東日本は立ち直ることができました。そして、当時の菅直人首

相から復興構想委員会の議長を頼まれ、世界一の津波常襲地の岩手県三陸沿岸の復興に尽力され、その後、68歳の防衛大学校長の定年を終え、縁あって熊本に移られますが、今度は熊本地震に遭遇されたそうです。

そして、熊本の知事から創造復興委員会の座長を頼まれ、復興の構想を描くことになります。

その様な長い自己紹介でしたが、最後は健康を害され、趣味のテニススクールに通ったり、還暦野球部に入られたりして、筋肉の鍛錬をされて健康を取り戻されたそうです。

そして、その後のいよいよ「コロナ」の話に入られました。人類史



「けんみんホール」

の裏で常に脅かされてきた細菌とウィルスについて、ペストやコレラ、日本では結核、天然痘が上げられますが、医学によって抑制されてきました。しかし、今なお手ごわいのがN1H型インフルエンザで、このウィルスは変異が得意で、次々に変異するので予想ができません。しかし、それ以上に恐ろしいのが、SARS、MERS、エボラ出血熱ですが、このウィルスの殺傷力は強力です。しかし、どのウィルスも宿(人体)なしでは生きられない弱点があります。

今回の新型コロナウイルスは、第一次世界大戦末期に流行って、多くの特に若い兵士が亡くなったスペイン風邪に似ています。しかし、変異が得意で殺傷力はありますが、これも宿なしでは立ち枯れていく弱点があります。マスクをして、しっかりと封鎖していけばそんなに恐れることはありません。8割の活動を自粛して、3密を避けてクラスターを無くす事が大切です。

日本もこれから、高齢者の接種は4月からですが、ワクチンの接種で感染症を止められるのか、それともウィルスが上手く変異して人に忍び込み、殺傷力を高めて拡散していくのか、わかりませんが、この国難にしっかりと対処していかなばなりません。ワクチンが来るまでのもうしばらくの間、高齢者も健康で元気にやれる事はやっていこうではありませんか。

その後、司会者が質問者の代弁をしての質疑応答があり、水越幸代同窓会副会長の閉会の挨拶で講演会は無事終了しました。役員の皆様、ご苦労様でした。

五百旗頭先生には、貴重なお話をありがとうございました。先生が書かれた色紙の「敬天愛人」とは、天を恐れ敬い、人を慈しみ愛すること。西郷隆盛が、学問の目的を述べた語として有名です。

(健福19期 中部 周二)